

## 令和7年度新潟県支部総会の開催報告



令和7年7月26日(土)に定時総会を開催しました。例年恒例でしたANAクラウンプラザ新潟ホテルから、今年は新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」をお借りし、盛大に開催しました。当日は総会・講演会及び懇親会を計画し、学長を含め総数 24 名の会員が出席されました。

特別講演には春に新学長に就任された村上賢麻布大学学長をお招きし「最近の麻布大学の近況と同窓会の近況」と題した特別講演を開催しました。近年の少子化等社会状況を考慮し、学部の各学科の定員見直しや新学科の創設、獣医保健看護学科を獣医学部に新設し、今後の社会情勢への対応や大学経営等考慮し学部・学科の編成をされたとのことでした。また、学内のお話では、校舎等のハード整備が終了し、木造校舎が無くなったとのことですが、私が入学した昭和56年当時は授業等には使用していませんでしたが、まだ、木造の建物があり、相撲部、柔道部の武道場はすでになく、木造で懐かしい風景が無くなったのかと思うと、少し寂しい感情が湧いてきました。

大学最寄り駅の矢部駅前の米軍キャンプも一部払い下げが決まり、周辺の再開発が進むとのこと。また、リニア中央新幹線の開通は計画よりも遅れるとのことですが、開通すると橋本駅が最寄りの駅になりますが、都心から現状より相当短時間で大学まで通えるとのこと大学立地もよくなるものと思われます。品川から10分で橋本駅到着し、橋本駅10分で矢部駅とのことですが、早く利用したいものです(ただし、橋本駅地下から地上まで10分かかるとのこと)。村上学長から大変興味深い大学の近況報告があり、楽しく拝聴しました。会員レポートとして新潟県下越家畜保健衛生所次長の内山会員より、近年、新潟県特に下越地区で発生した高病原鳥インフルエンザ、豚熱の家畜伝染病対応について、御講演をいただきました。近年、地球温暖化等により野生動物分布の変化や生息数の変化等により、家畜伝染病の発生にも影響しているのかと、大変興味深く拝聴しました。

懇親会は隣接するアートホテル宴会場で、小嶋会長の挨拶・乾杯で始まり、皆さん、1年ぶりの懇親会でした。最初はいづらか静かなスタートでしたが、すぐにペースを取り戻し、和気あいあいとした雰囲気での懇親会となりました。また、後半は寮歌、記念祭の歌と恒例のオールドソングに声を張り上げ、皆さん、大学時代に思いを馳せていました。

年々会員の高齢化が進んでいますが、獣医学科だけではなく、他の学部、学科の卒業生が共に参加し、若い世代との交流が進むことを願っています。